

平成30年度
網走市における景気動向調査
＜第Ⅱ四半期＞

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

調査要領	1
1. 調査時点及び調査対象期間	
2. 調査対象	
3. 調査方法	
4. 回収状況	
第1章 概況	
1－1. 全体の動き	2
1－2. 業種別の動き	3
第2章 各判断項目回答割合と天気図	
2－1. 業況	4
2－2. 採算	10
第3章 産業別経営上の問題点	
3－1. 回答実数	11
3－2. 回答割合	11
第4章 産業別設備投資の状況	12
第5章 北海道胆振東部地震による経営上の影響	13
第6章 業界の景気動向等その他のご意見	15

調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点：平成 30 年 9 月 3 日(月)～平成 30 年 9 月 28 日(金)
- (2) 調査対象期間：平成 30 年 7 月～9 月期実施、及び平成 30 年 10 月～12 月見通し

2. 調査対象

網走市に所在する建設業（30 件）、製造業（23 件）、卸売業（20 件）、小売業（39 件）、サービス業（44 件）の 156 社を調査対象とした。

3. 調査方法

調査対象に調査票を送付し、FAX,もしくは返信用封筒による郵送で回答を受ける。

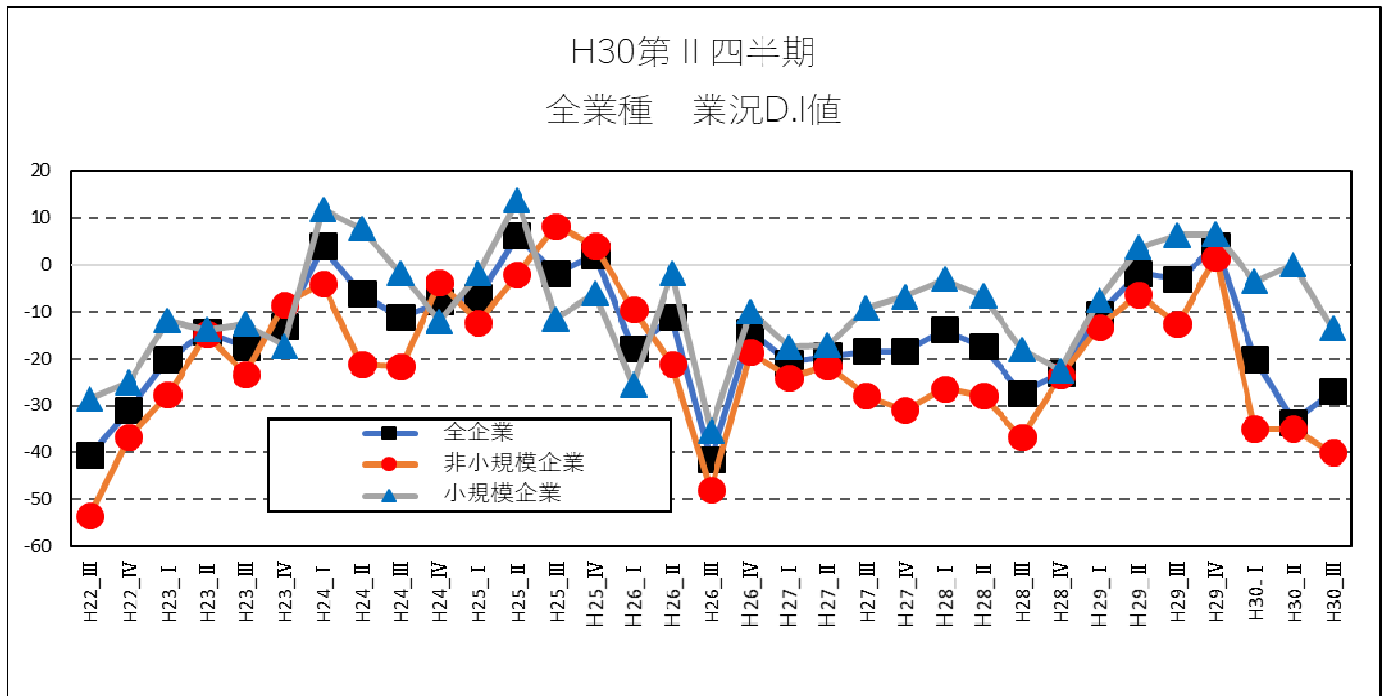
4. 回収状況

業種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
業種 建設業	30 件	25 件 (非小規模企業:13件) (小規模企業:12件)	83.3 %
製造業	23 件	17 件 (非小規模企業: 8件) (小規模企業: 9件)	73.9 %
卸売業	20 件	16 件 (非小規模企業: 9件) (小規模企業: 7件)	80.0 %
小売業	39 件	27 件 (非小規模企業:13件) (小規模企業:14件)	69.2 %
サービス業	44 件	34 件 (非小規模企業:17件) (小規模企業:17件)	77.3 %
合 計	156 件	119 件	76.3 %

※小規模企業とは、常時使用する従業員が 20 名以下（卸売業、サービス業は 5 人以下）を示している。

第1章 概況

1-1. 全体の動き



平成30年度第Ⅱ四半期（7月～9月）の業況は、前年同期比で「好転企業」12.6%「悪化企業」46.2%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いた D.I.値は▲33.6と前期に比べ13.6ポイント悪化しました。今期は9月に発生した北海道胆振東部地震の影響が重なり、前期からマイナス局面に入っていた業況に追い打ちをかけた形となりました。

業種別で見た業況は、建設業が15.2ポイント悪化し▲36.0、製造業は16.1ポイント改善して▲11.7、卸売業37.5ポイント悪化の▲37.5、小売業が14.0ポイント悪化し▲51.9、サービス業が20.5ポイント悪化して▲26.5となり、製造業を除くすべての業種で悪化を示しました。

次期＜10月～12月＞の業況判断 D.I.は6.7ポイント改善の▲26.9を予想しており、業種別では建設業▲28.0、製造業11.7、卸売業▲56.3、小売業▲37.0、サービス業▲23.5で、卸売業が悪化の予想、その他業種では改善傾向が見られるものの引き続きマイナス水準となっています。

経営上の問題点としては、「人材不足」が依然として高く（回答の52.1%）、小売業を除くすべての業種で1番の問題点にあげています。一方、小売業では「得意先（客足）減少」をあげています。

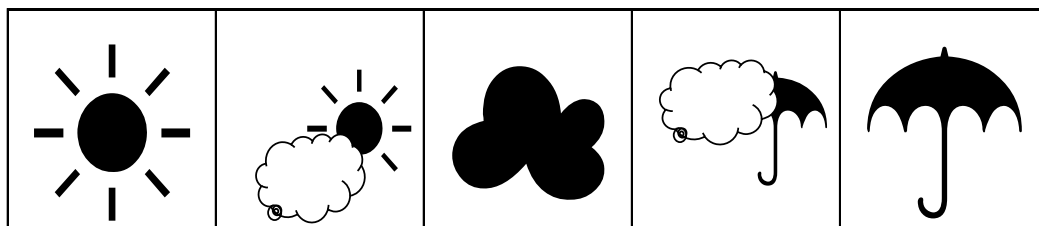
全体としては、前期から景気後退局面に入り、今期、更に大きく後退するなど予断を許さない状況にあります。今期は地震による影響を考慮する必要はあるものの、全業種とも経営改善に向けた対応がより求められている状況にあると推測されます。

1 - 2.業種別の動き

業種	規模/項目	売上高（建設業は完成工事高）			採算			次期（D.I値）		
		増加	減少	DI	増加	減少	DI	業況	売上	資金繰り
建設業	小規模	41.7	33.3	8.3	25.0	25.0	0.0	-8.3	-8.3	8.3
	非小規模	6.7	73.3	-66.7	7.7	61.5	-53.8	-46.2	-53.8	-7.7
	全体	22.2	55.6	-33.3	16.0	44.0	-28.0	-28.0	-32.0	0.0
製造業	小規模	11.1	33.3	-22.2	22.2	33.3	-11.1	-11.1	-11.1	-11.1
	非小規模	28.6	28.6	0.0	25.0	25.0	0.0	37.5	37.5	12.5
	全体	18.8	31.3	-12.5	23.5	29.4	-5.9	11.7	11.7	0.0
卸売業	小規模	14.3	71.4	-57.1	0.0	57.1	-57.1	-57.1	-71.4	-57.1
	非小規模	25.0	50.0	-25.0	0.0	22.2	-22.2	-55.6	-44.4	-11.1
	全体	18.8	56.3	-37.5	0.0	37.5	-37.5	-56.3	-56.3	-31.3
小売業	小規模	5.9	41.2	-35.3	7.1	57.1	-50.0	-7.1	7.1	-7.1
	非小規模	16.7	44.4	-27.8	0.0	92.3	-92.3	-69.2	-61.5	-46.2
	全体	11.4	42.9	-31.4	3.2	64.5	-61.3	-37.0	-25.9	-25.9
サービス業	小規模	22.2	27.8	-5.6	17.6	17.6	0.0	-5.9	-11.8	0.0
	非小規模	15.0	55.0	-40.0	11.8	58.8	-47.1	-41.2	-41.2	-5.9
	全体	18.4	42.1	-23.7	14.7	38.2	-23.5	-23.5	-26.4	-2.9

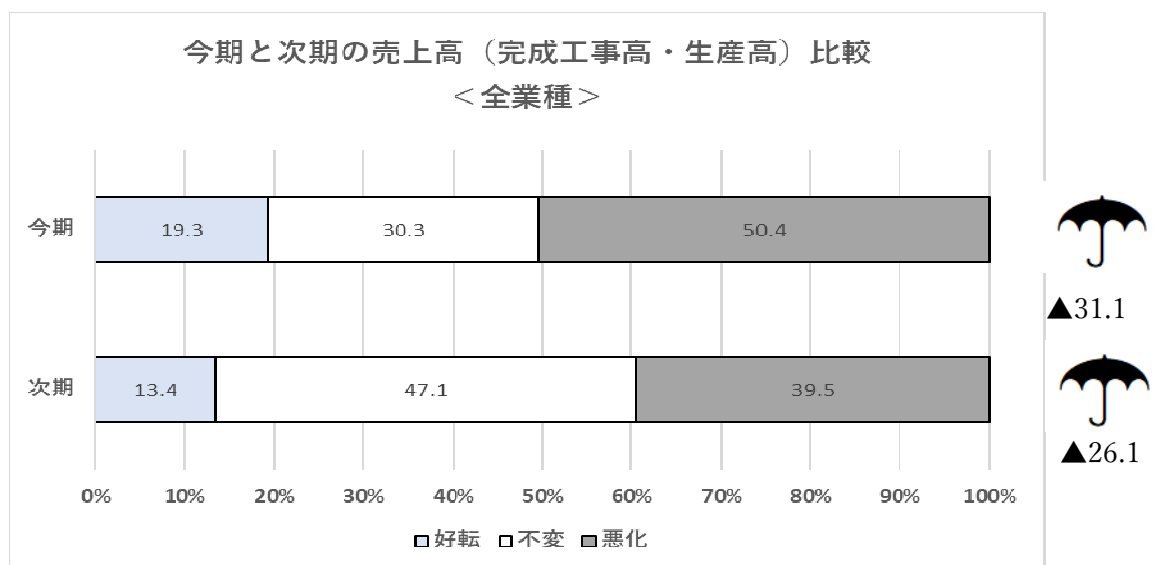
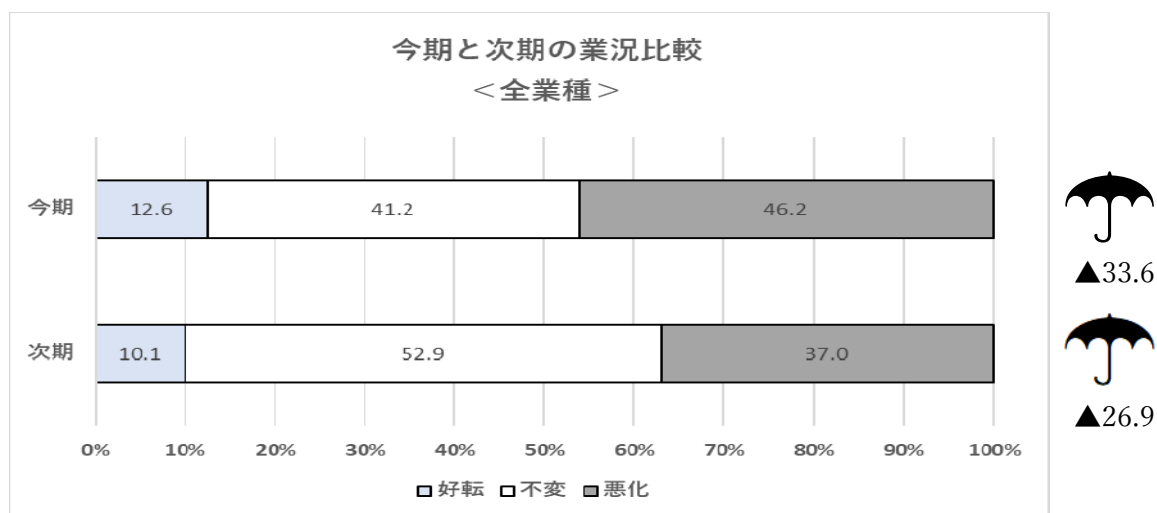
第2章 各判断項目回答割合と天気図

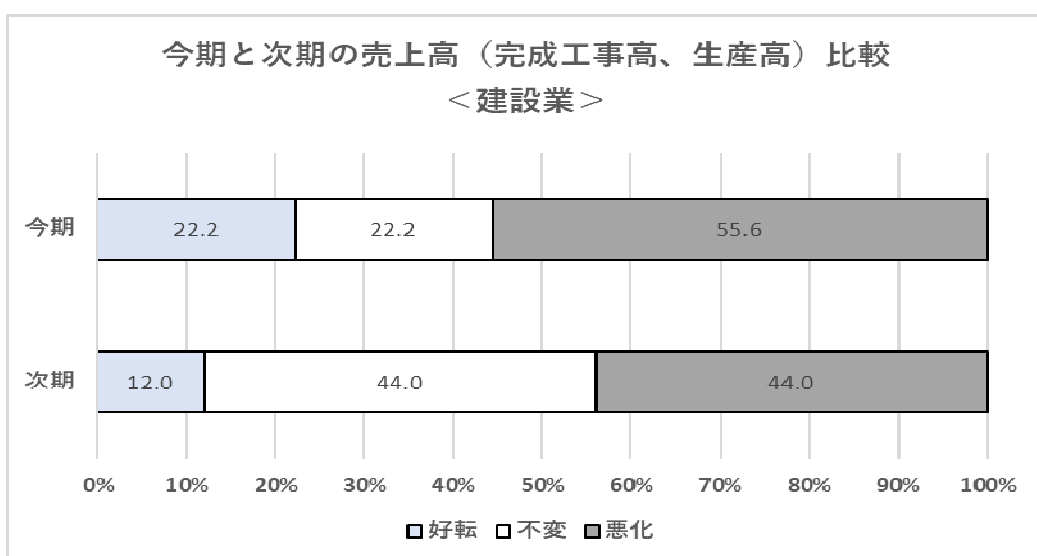
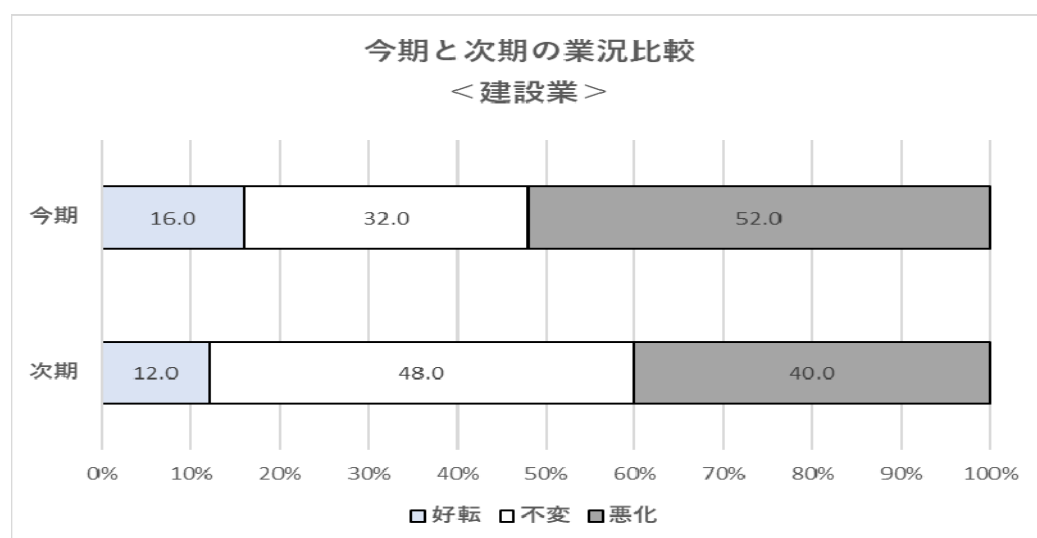
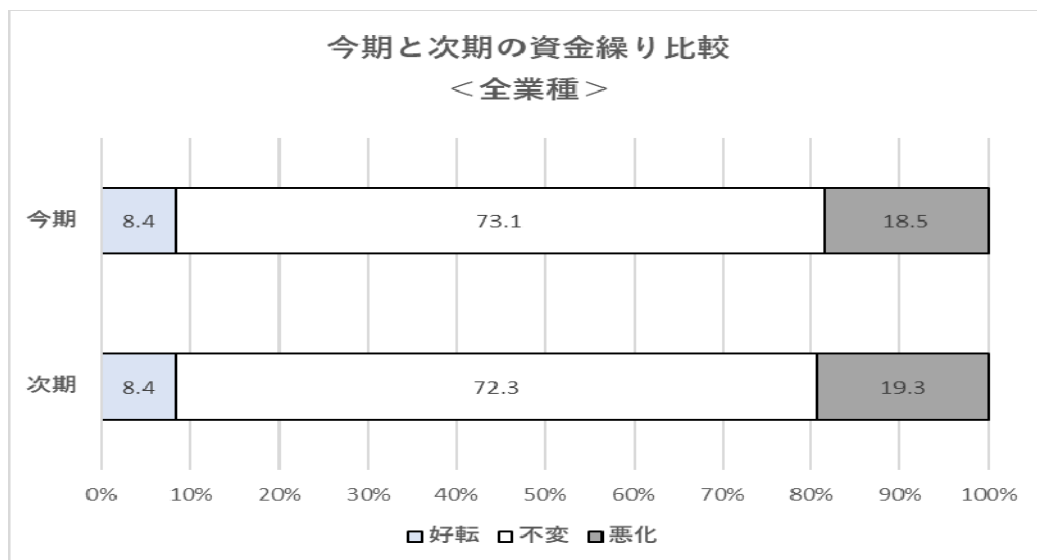
記号説明

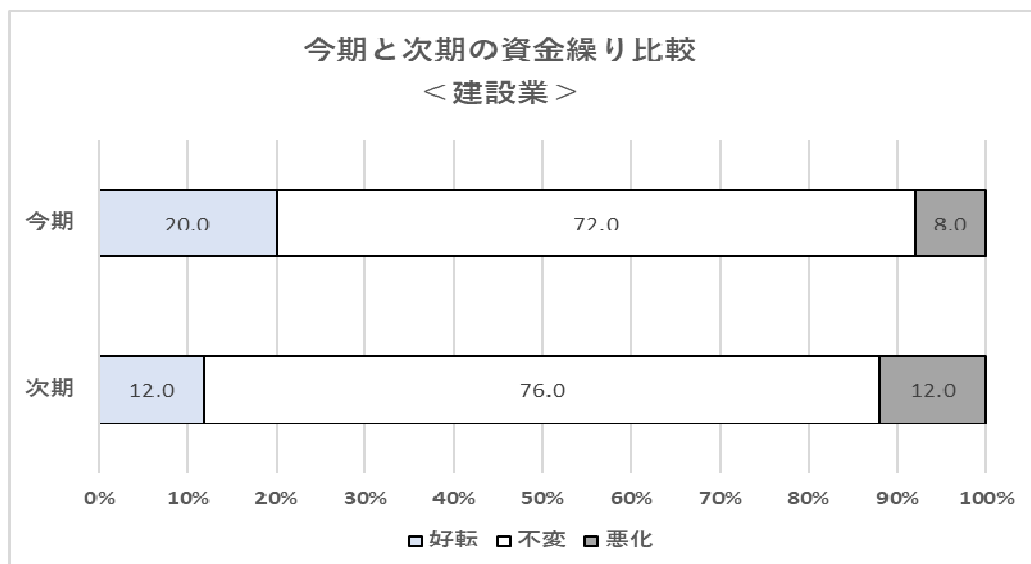


とくに好調 (D.I. ≥ 50) 好 調 (50 > D.I. ≥ 25) まあまあ (25 > D.I. ≥ 0) 不 振 (0 > D.I. ≥ ▲25) きわめて不振 (▲25 > D.I.)

2-1. 業況



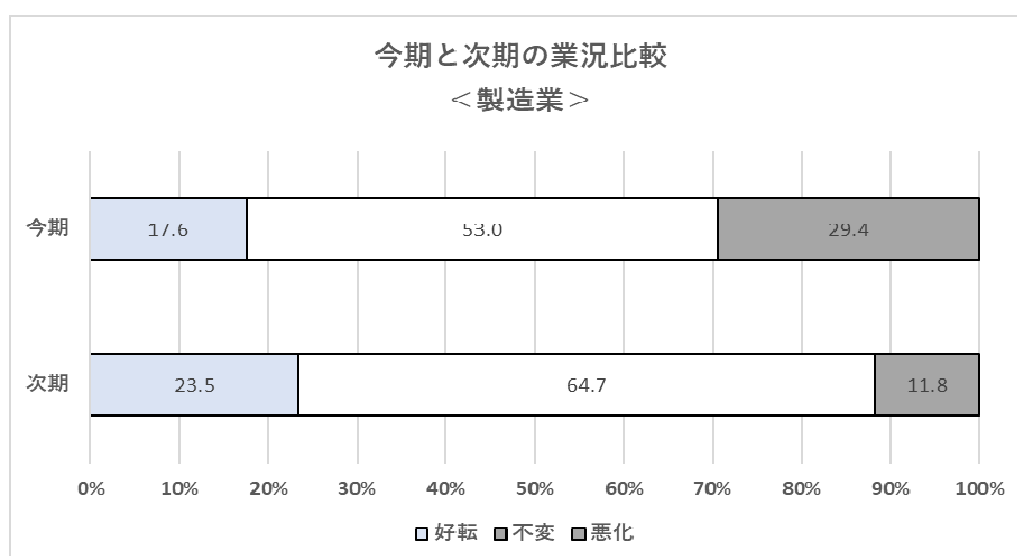




12



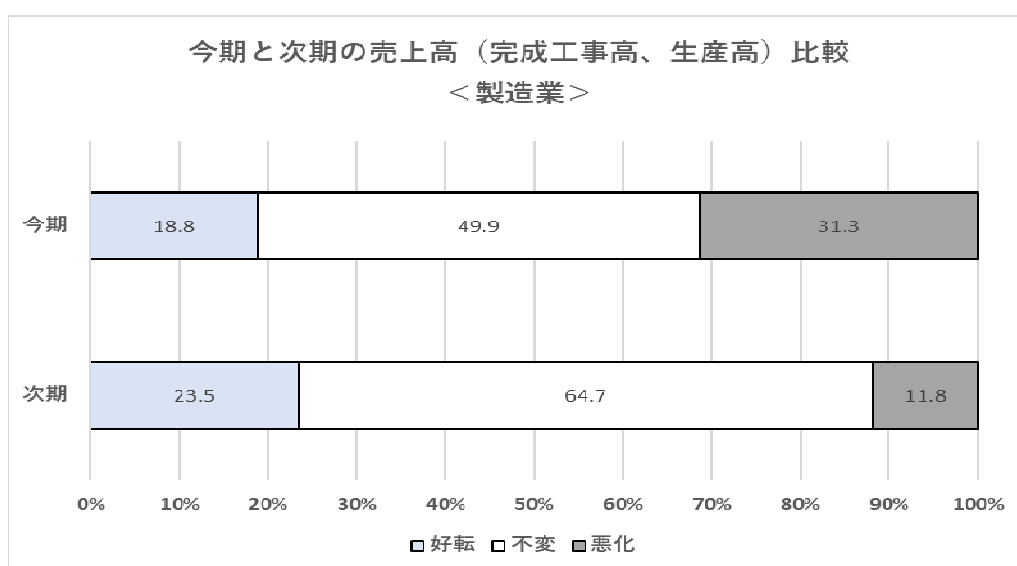
0.0



▲11.8



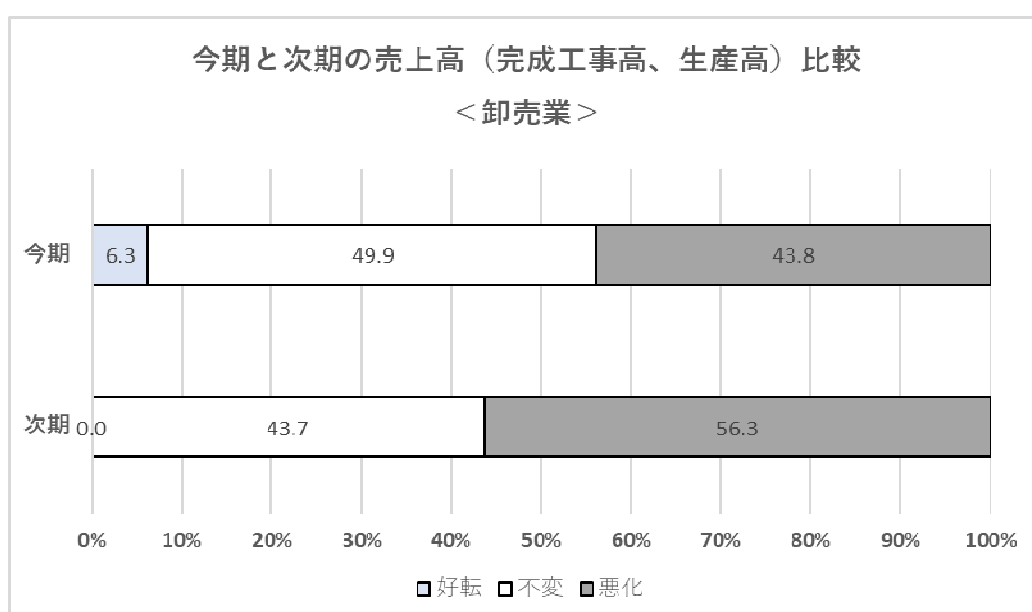
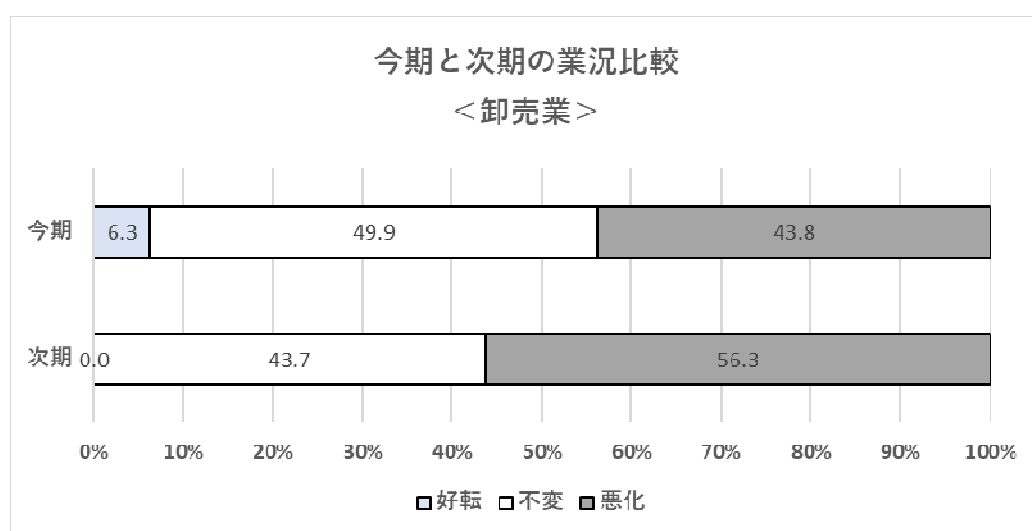
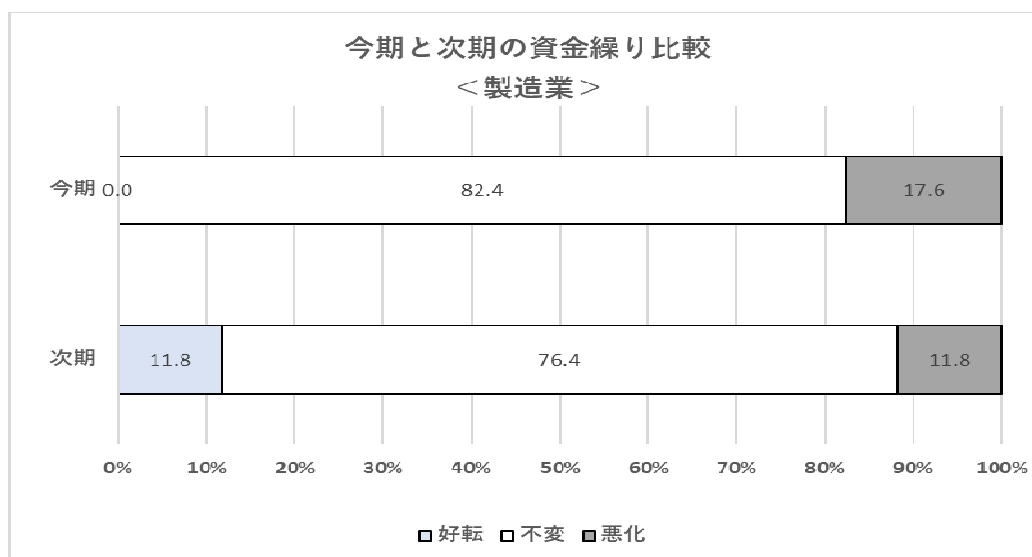
11.7

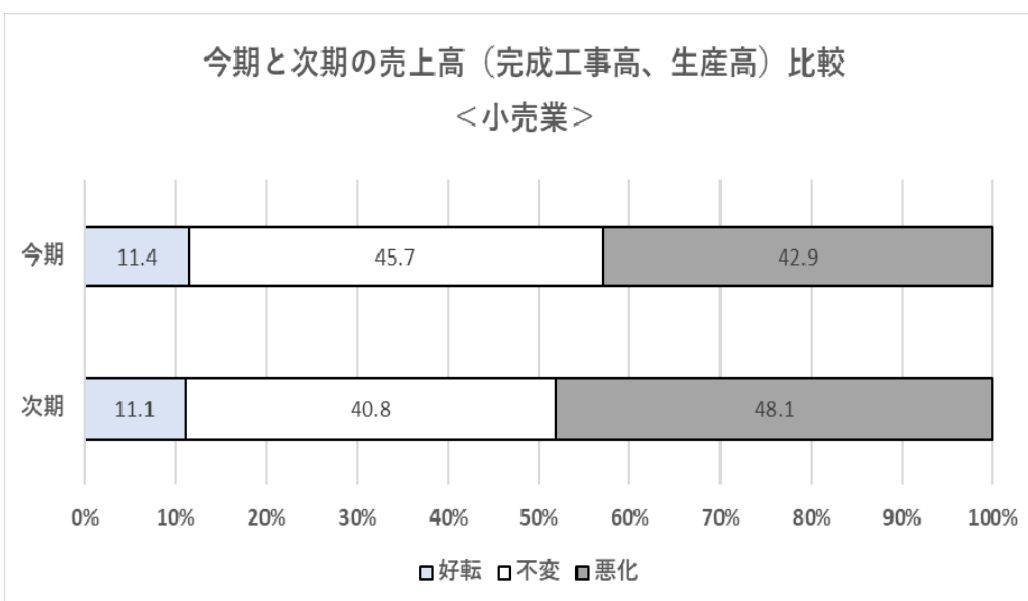
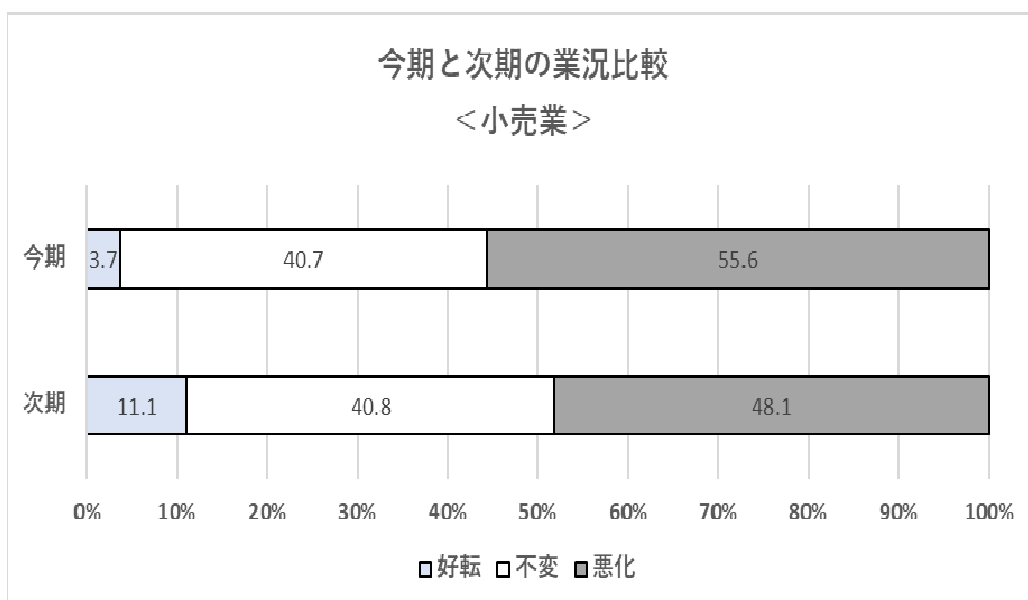
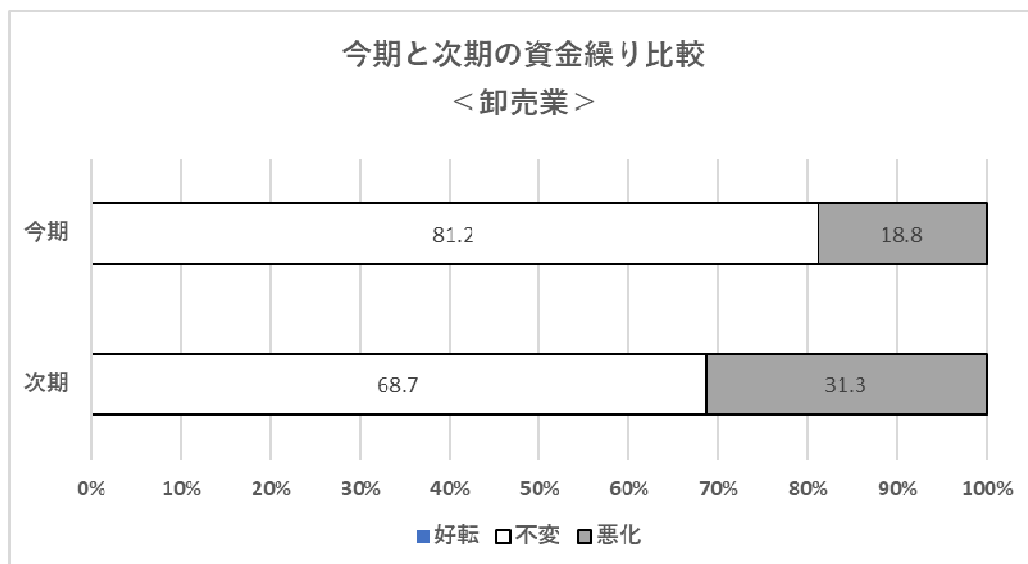


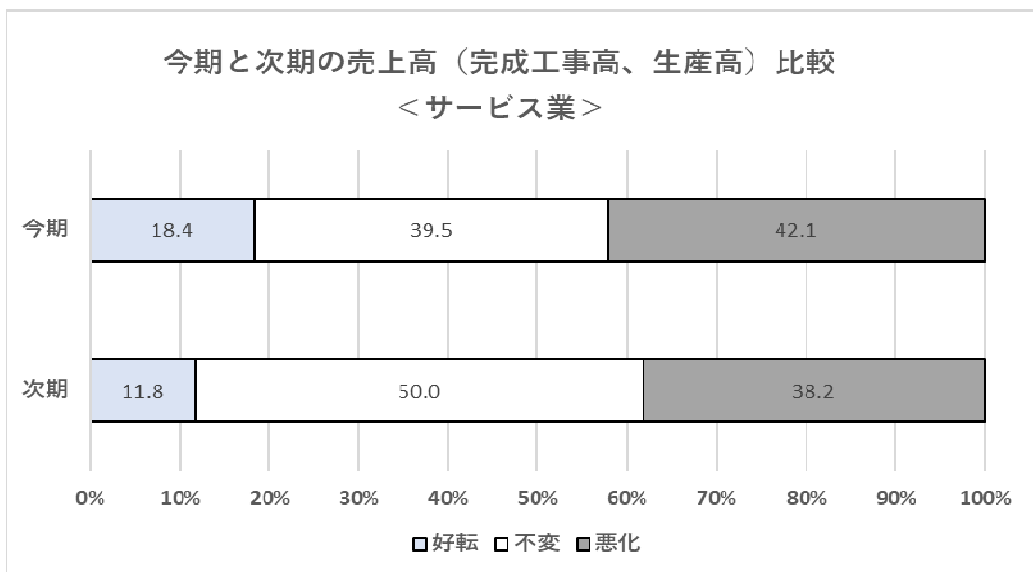
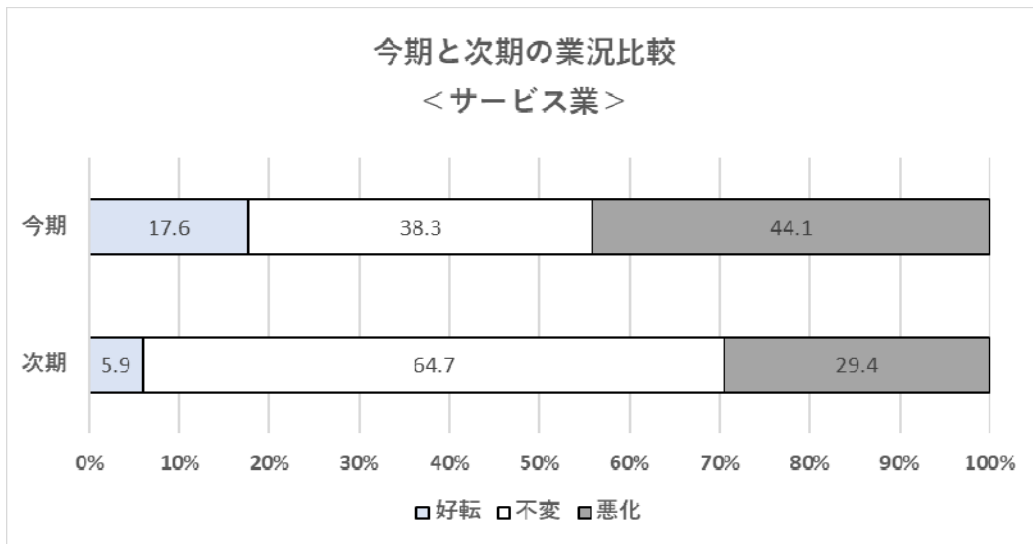
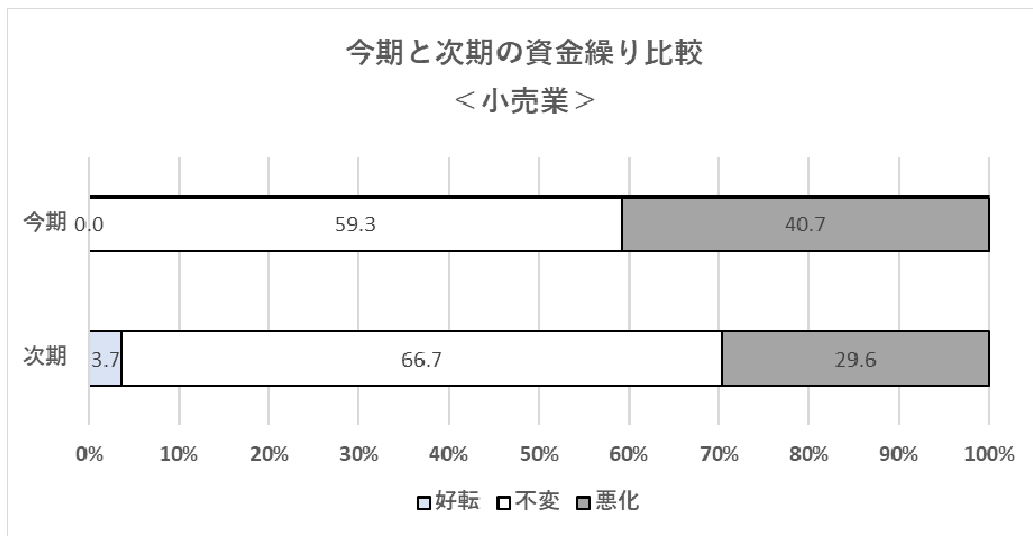
▲12.5

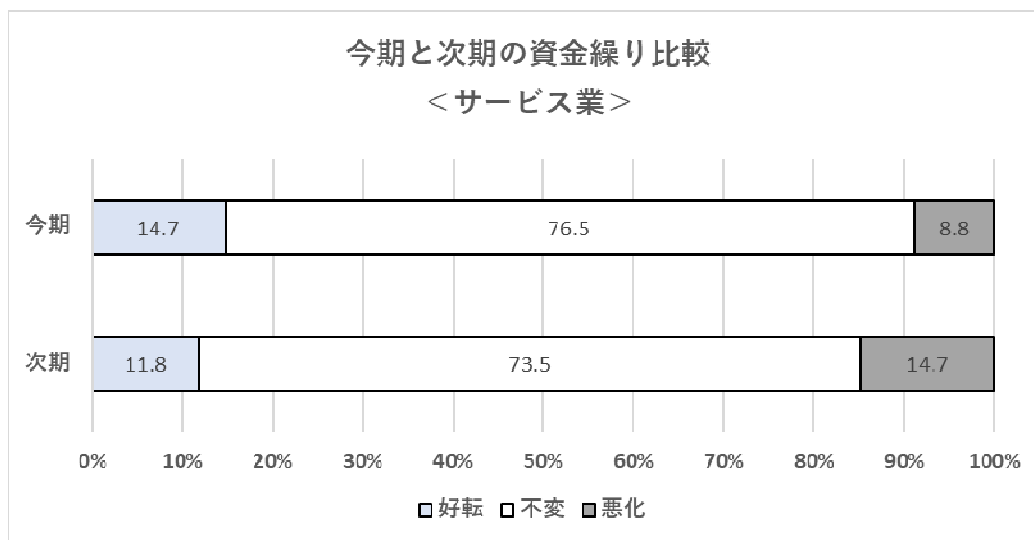


11.7



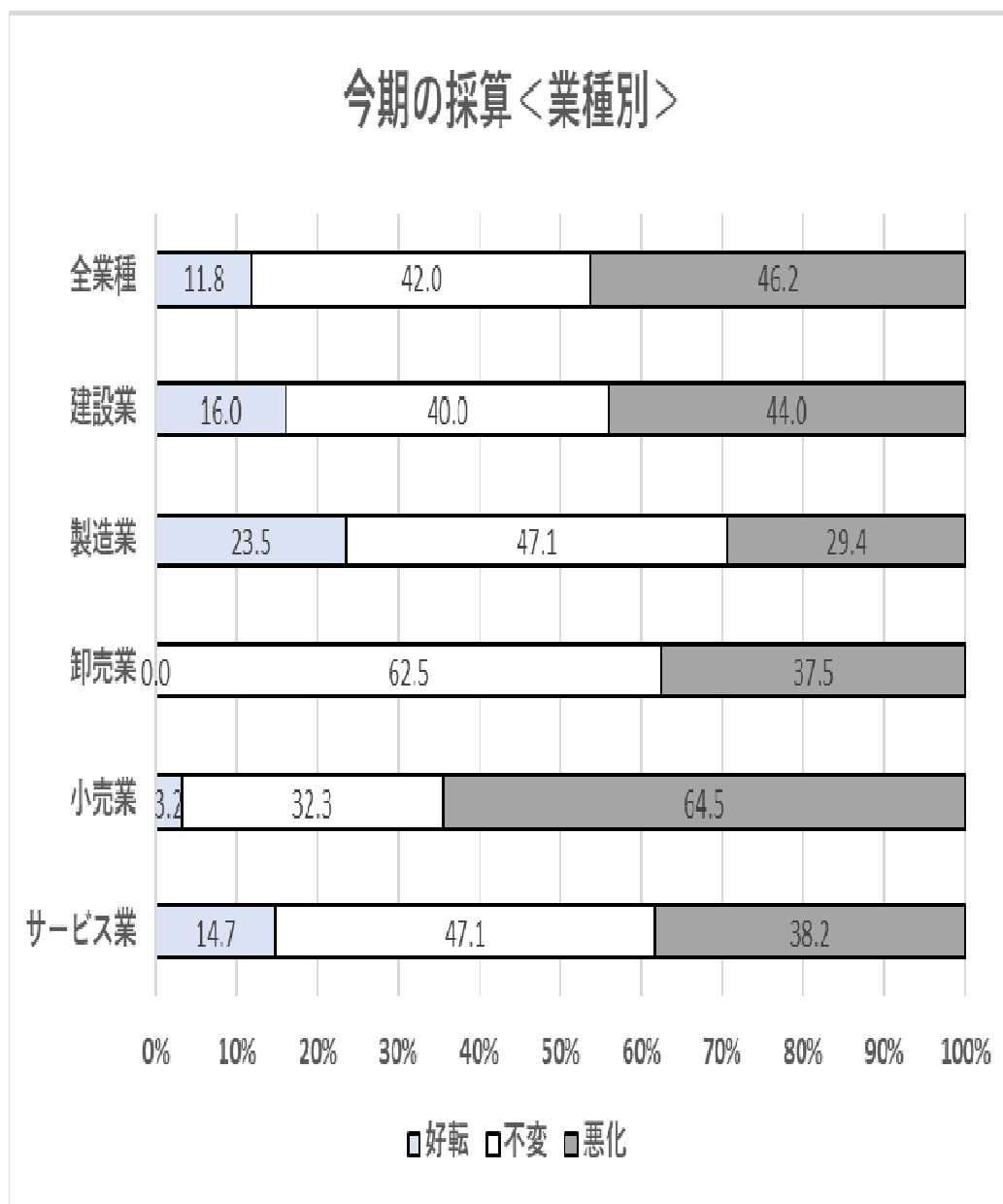






☁
5.9
☁☂
▲2.9

2-2. 採算



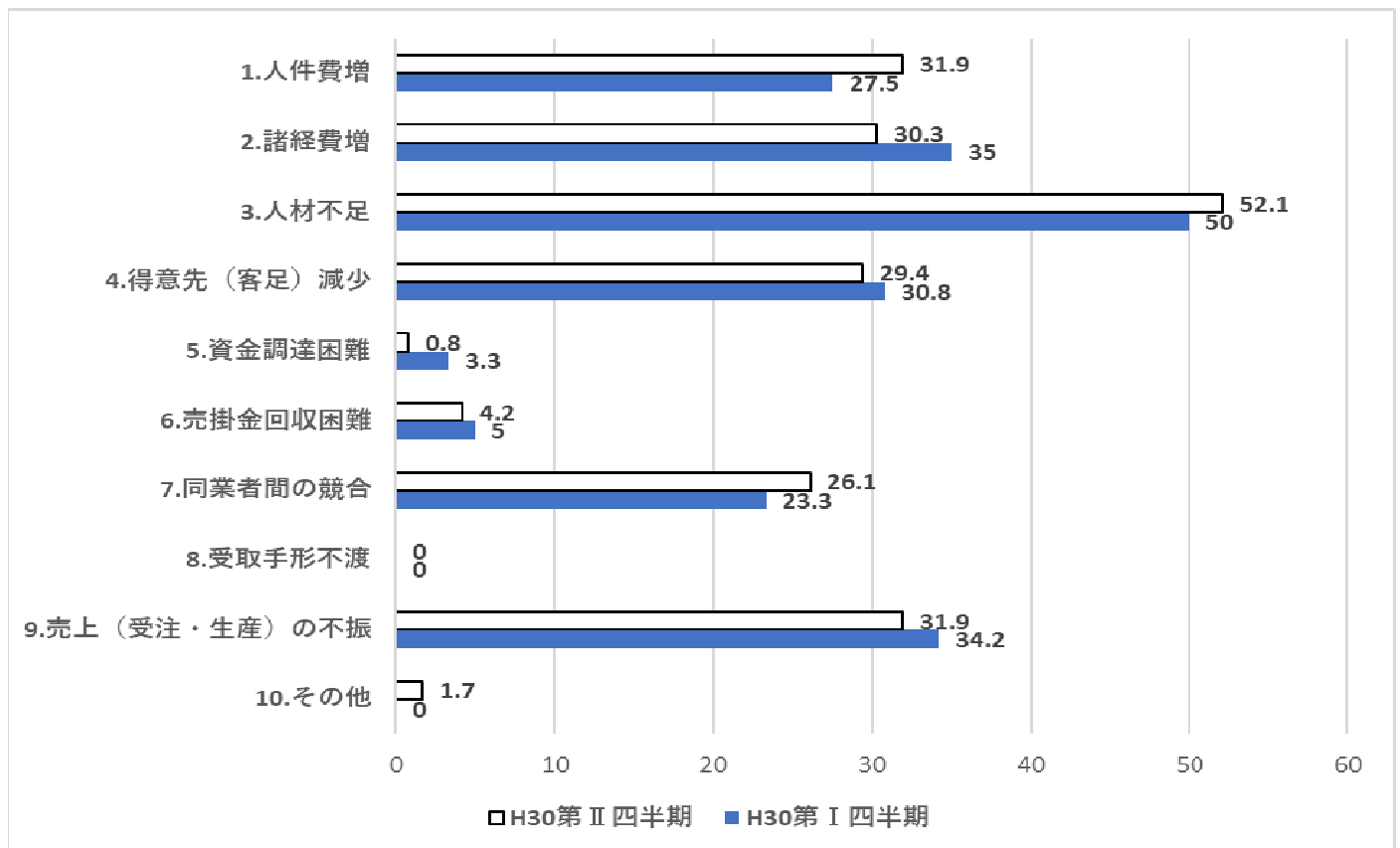
☂
▲34.4
☂
▲28.0
☁☂
▲5.9
☂
▲37.5
☂
▲61.3
☁☂
▲23.5

第3章 産業別経営上の問題点

3-1. 回答実数

業 種	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
建 設 業	人材不足	売上の不振	人件費増 諸経費増	同業者間の競合	得意先減少
製 造 業	人材不足	人件費増 諸経費増	売上の不振 同業者間の競合	得意先減少	資金調達困難
卸 売 業	人材不足 同業者間の競合	得意先減少	人件費増 諸経費増	売上の不振	売掛金回収困難
小 売 業	得意先減少	人材不足	売上の不振	同業者間の競合	売掛金回収困難
サービス業	人材不足	人件費増	諸経費増	得意先減少 売上の不振	同業者間の競合
合計	人材不足	人件費増 売上の不振	諸経費増	得意先減少	同業者間の競合

3-2. 回答割合 (%)



注：複数回答あり

第4章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。

設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2です。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
した	5件 20.0	7件 41.2	3件 18.8	7件 25.9	8件 23.5	30件 25.3
してない	20件 80.0	10件 58.8	13件 81.2	19件 70.4	26件 76.5	88件 73.9
無回答	—	—	—	1件 3.7	—	1件 0.8
合計	25件 100.0	17件 100.0	16件 100.0	27件 100.0	34件 100.0	119件 100.0

※右側の数字はパーセンテージを表している。

表2 業種別設備投資の内容

設備投資 内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
1.土地	1件	—	2件	—	2件	5件
2.店舗	—	1件	1件	—	2件	4件
3.販売設備	—	—	1件	—	1件	2件
4.車両運搬具	4件	2件	1件	2件	3件	12件
5.付帯整備	—	3件	1件	3件	2件	9件
6.OA機器	—	1件	—	2件	1件	4件
7.福利厚生施設	—	2件	—	—	—	2件
8.その他	—	3件	—	1件	1件	5件

※複数回答があるため、表5-1の合計件数と相違している。

※その他の記述内容（4件

第5章 北海道胆振東部地震による経営上の影響

表1

	全業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
ある	58 件	6 件	8 件	9 件	14 件	21 件
ない	54 件	17 件	7 件	7 件	12 件	11 件
無記入	7 件	2 件	2 件	—	1 件	2 件

今後の経営において不安に思うこと

【建設業】

- ・非常電源の検討。
- ・工事、最盛期に2日程、施工が行えず工期内完成及び諸経費増加の影響があった。
- ・予定されていた電子入札が停電のために延期となった。会社の電話も繋がらなくなった。(停電時、転送される携帯電話を設置)
- ・停電のため、工事がストップしてしまった。また、その後の資材の搬入にも時間がかかり、工程が遅れた。このことによるロス、発注者からの救済もないので金銭的な不安はある。
- ・全電源を失い、お客様と連絡が取れなくなり作業を進めるのが難しい部分があった。既に大きい発電機を6台購入し、万一の場合の対応策を順次進めている。
- ・来年の消費税の10%増になった後の工事受注の減少の不安。
- ・技術者の育成、人手不足の危機を感じています。
- ・職員の高齢化と季節作業員の人材不足。

【製造業】

- ・設備の更新。
- ・停電時の冷凍、冷蔵庫の維持管理等のリスク回避のための設備（自家発電等）導入にはコスト増。
- ・自然災害時におけるインフラ（電気・通信網）供給体制。
- ・地震の影響に取引先、観光客の減少で商品が思うように動かなくなり、先が不安に思う。
- ・売上の減少、資金繰り。
- ・突然の停電による原料の廃棄。
- ・油代値上げについて先が見えません。製品作りも停電で休止で予定より不足。

【卸売業】

- ・観光業に携わる人は、入り込み減がいつまで続くか。資材調達を少なくして様子を見ています。復興割の旅行も大手のホテルさんに有効なのは。
- ・停電による経費ロス。製品、商品の未入荷による販売ロス。
- ・売上のダウン、観光客の減少、個人消費の減少。
- ・電力が使用できないこと。エネルギーの供給が止まってしまうこと。
- ・電源の確保。

【小売業】

- ・ 停電のため、発電機を借りたり、レジが動かないため手計算をしたり…まさかの時の備えが大事だということ学びました。
- ・ 商品の入荷不安定。地震、停電対策への設備投資増加。
- ・ エネルギー供給という責務を等しく果たせるか、ほくでんの電力のみに頼らない、社会インフラの実現。
- ・ 得意先減少、売上減少、後継者不足。
- ・ 消費マインドの減退、万が一に備えるため、不要なものは買わない。
- ・ 今回よりも長い災害が起きた場合でも店を開けなければならないため自身が寝ないでも働かなければならない。また、スタッフが集められるかどうか、全員出勤してくれた（今回はそうでした）場合、売上がなくても人件費はかかるため、大変なことになります。また、商品が入荷しなくても閉めるとお客様からクレームが来る、コンビニ業界です。自身が倒れます。
- ・ 同業者間の競合。
- ・ 物流に影響が出て、9月8日、9日の展示会が延期になった。
- ・ 注文商品の到着に約半月遅れる状態だった。
- ・ プラスの影響もマイナスの影響もあったが、今後の経営に影響が出るほどではない。

【サービス業】

- ・ 幼馴染人口減少に伴う売上げの減少。
- ・ 同じ経営形態で35年も続けてきたので変え時かもしれないと思う。
- ・ 9月は地震により2割の入館者減少があった。今後の風評被害の影響がいつまで続くのかが不安材料です。
- ・ 観光客（特に海外客）の減少。
- ・ 売上の減少、諸経費増、暖房費（重油）増。
- ・ ブラックアウトは大変なことです。再びあってはならない！電力の多様性を考え、安全・安心を期してください。又、最低賃金が上がりましたが、益々厳しくなるコスト（人件費）に耐えられなくなる企業（中小）が出ますよ！いいかげんにしてほしい！！
- ・ 実質2日間程の業務停止があった。（電力ダウンによる）
- ・ 地震後の売上落ち込みはひどい。
- ・ 同業者の増加。
- ・ 価格の維持、値上げ。（新規導入機械と既存機械の差別化）
- ・ 北海道全体での予算が災害や工事費へと向かい、測費、役務費が減少傾向にある。
- ・ 人材不足。

【サービス業】

- ・ 売上アップは望めるが人材不足で、思うように実施できない。
- ・ 予約のキャンセルが多く、その後の冬または流氷観光の予約ができない。
- ・ 宿泊。来網観光客が横ばいまたは減少している。
- ・ 「開業以来毎週のように来院されていた方が車の事故後運転しなくなったため、その分の売上数が10万ほど昨年より下った。」という事例がありました。このように何らかの事情によりずっと来ていただいている方が、来院されなくなるのは心配です。
- ・ 建物が古いので、地震が心配です。

第6章 業界の景気動向等その他のご意見

◎業界の問題点について

【建設業】

- ・毎年、人手不足に困っており、人材確保するためにも労務賃金を上げざるを得ない。
- ・全体的に働く人の高齢化が進んでおり、これから先が不安です
- ・人材不足は深刻な問題です。解決策が見当たりません。

【製造業】

- ・道内を訪れる観光客減少に伴う高い商品が道内で売れない。
- ・原料高、消費の減少。

【卸売業】

- ・人手の不足、募集しても来ない。
- ・主にメーカー側（製造元）の工場被害のために、その影響を受けたので、自分としては、代替商品の種類を増やすことで対応をすでにしたが、売上減少は仕方ないがいつでも災害が起こることを想定しておくことが重要だと思った。

【小売業】

- ・世の中になくってはならない貴重なエネルギーを扱っているにも関わらず、価格以外の価値提供が出来ていない。
- ・書店業界全体の売上減、倒産廃業店の増加。
- ・商品が受注生産になり3か月以上待ちます。
- ・メーカーも合併をし、商品単価が上がります。今後の見通しがつきません。
- ・人材について募集をしても（広報・ハローワーク等）問合せがありません。どの業種も人手不足のようで今後益々不安です。

【サービス業】

- ・公共工事発注時期の集中による機械不足。
- ・活気がない。
- ・同業宿泊施設が多い。
- ・いつも通りですが、宣伝できないこと。また、「今年6月号？の法の改正により今後インターネットのHPなどにも規制が強まってくる！」というウワサを耳にするようになり、ますます集客が難しくなっていくと考えられます。
- ・34年目を迎えます。今は「資金があっても飲食業だけには手を出すな」と言われる時代。まもなく年号が変わります。「飲食業（店）が狙い目」と注目される時代（とき）がやってくるのでしょうか！？